

＜2014年農林水産研究成果10大トピックス TOPIC1＞

農林水産技術会議事務局

＜タイトル＞

飛ばないナミテントウの育成と利用技術の開発
－アブラムシ防除に強力でやさしい味方誕生－

＜当該研究成果のポイント＞

難防除害虫アブラムシの天敵であるナミテントウをその防除に有効利用するため、飛翔能力の低い個体を検出し、作物上によく定着する系統（飛ばないナミテントウ）を育成した。

2013年9月に施設野菜類用の天敵製剤として登録され、本年6月より販売されている。また、利用法を解説した技術マニュアルも発行されている。

＜期待される効果・今後の展開など＞

飛ばないナミテントウは放飼後、長期間の効果持続が確認されており、生物農薬として従来の製品より効率の良い利用が可能。

現在、施設野菜類での現場普及と露地での登録に向けて取組中。露地での実用化により、さらに広域で化学農薬の使用量削減が期待される。

＜研究所名＞

（独）農研機構 近畿中国四国農業研究センター、（国）岡山大学、（株）アグリ総研、兵庫県立農林水産技術総合センター、（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所、奈良県農業研究開発センター、和歌山県農業試験場、徳島県立農林水産総合技術支援センター

＜担当者名＞

（独）農研機構 近畿中国四国農業研究センター 水田作研究領域
主任研究員 世古智一、主任研究員 三浦一芸

（国）岡山大学
教授 宮竹貴久

（株）アグリ総研
部長 手塚俊行

兵庫県立農林水産技術総合センター
主席研究員 八瀬順也

（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所
主幹研究員 柴尾 学

奈良県農業研究開発センター
科長 国本佳範

和歌山県農林水産部
井口雅裕

徳島県立農林水産総合技術支援センター
上席研究員 中野昭雄

＜連絡先＞

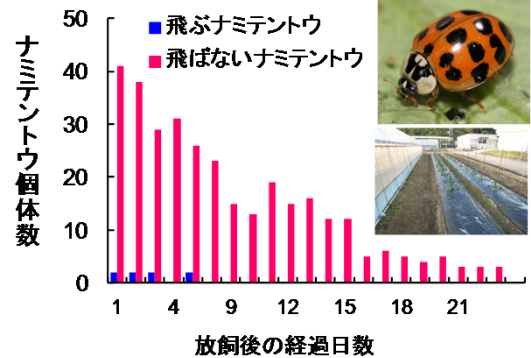
（独）農研機構 近畿中国四国農業研究センター 水田作研究領域
主任研究員 世古智一 TEL：084-923-4100

飛ばないナミテントウの育成と利用技術の開発

—アブラムシ防除に強力でやさしい味方誕生—

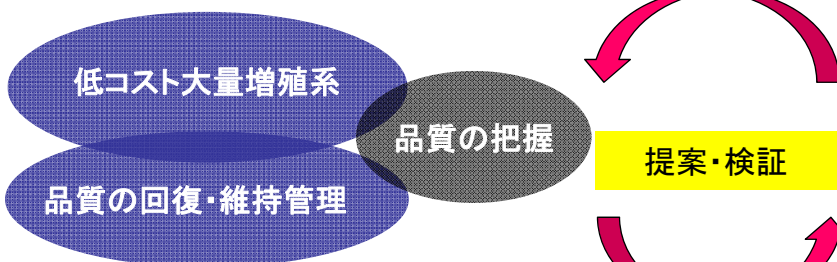
飛ばないナミテントウ(特許第5594657号)

- ・集団内の遺伝的変異に注目し、飛翔能力の低い個体を検出して育成
- ・施設だけでなく露地でも定着し、アブラムシ防除に有効(右図)
- ・生産コストの低い幼虫を利用でき、長期にわたる効果が期待(下図)



実用化に向けた研究とその成果

製剤化するための研究



農薬登録

- 農林水産省登録第23357号
- ・ 2齢幼虫200頭入り
 - ・ 野菜類(施設栽培)
 - ・ 使用量: 10~13頭/m²



天敵製剤「テントップ」

利用法の研究

- ・マイナー作物栽培条件(コマツナ、ニンジンなど)
- ・アブラムシ多発生施設条件(イチゴ、ナスなど)
- ・防虫ネット被覆露地条件(キク、シシトウなど)

情報集約



利用技術マニュアル